衛星データ活用アワード2026-2027
NEDO Challenge, Satellite Data
-衛星データで革新する未来の都市インフラ-

応募要項

２０２６年１０月

衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会

目 次

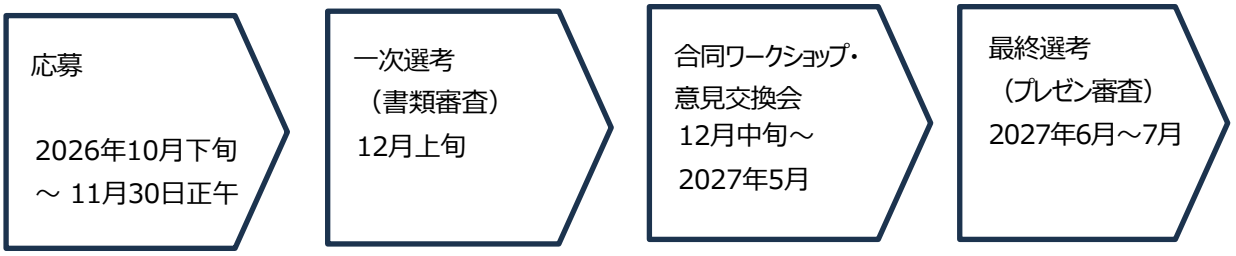
1 衛星データ活用アワード趣旨 2
2 運営体制 2
3 応募について 3
（1） 応募の流れ 3
（2） 応募期間 3
（3） 応募資格 3
（4） 応募テーマ 4
（5） 応募方法 6
4 選考プロセス 6
5 授賞 8
6 その他の留意事項 9

1　衛星データ活用アワード趣旨

衛星データ活用アワードは、NEDO懸賞金活用型プログラム「NEDO Challenge, Satellite Data –衛星データで革新する未来の都市インフラ-」と連携した衛星データ活用プログラムです。

本プログラムは協賛企業の協力により実行委員会を組成し、「NEDO懸賞金活用型プログラム」と独立したコンテストを実施します。事業化を目指す企業、個人、学生、異業種等から、幅広く応募を募り、社会インフラ分野の課題解決につながるビジネスアイデアを募集します。

優れた提案には、協賛企業により表彰および賞金を授与します。宇宙業界関係者に留まらず、広くビジネスアイデアを募集しますので、企業、個人、学生、異業種等の積極的な参加を期待します。



本事業のプロセス（予定）

2　運営体制

衛星データ活用アワード2026-2027は、「衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会」により主催・運営されています。

「衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会」は、宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合(SSIL)及び以下の協賛企業により構成されています。

- 株式会社カナン・ジオリサーチ

（協賛企業募集中）

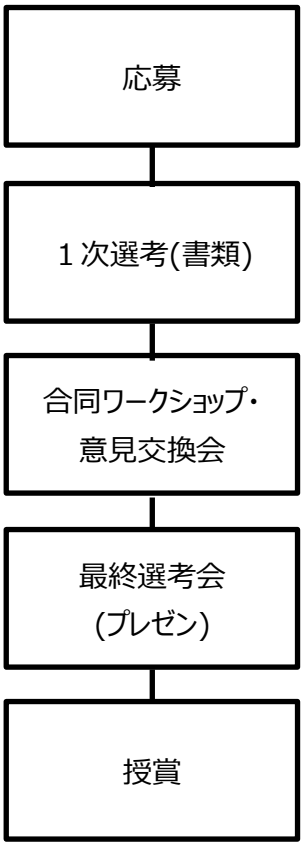
主催・運営：　衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会
協力：　国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

3　応募について

(1)　応募の流れ

衛星データを活用した事業アイデアを応募後、１次選考（書類審査）を経て、合同ワークショップや協賛企業および専門家等との意見交換を通じ、提案のブラッシュアップを図ります。

最終選考会ではブラッシュアップされた事業アイデアを協賛企業等に対して発表し、優秀なアイデアには賞が授与されます。授賞式においては、その後の事業化に向けた取り組みのためのビジネスマッチングの機会が提供されます。アイデアのご応募から授賞までの流れは以下の通りです。



(2)　応募期間

2026年10月26日（月）～2026年11月30日（月）正午（必着）

(3)　応募資格

法人・個人・グループを問わず応募することが可能であり、大企業やスタートアップ、上場/非上場の別は問いません。ただし、日本国に籍を有する個人、グループおよび日本国の法人格を有する民間企業、大学・公的研究機関等であることとします。（なお、未成年の方は、成年の方とのグループでの参加をお願いします。）

また、「衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会」と同一の企業・団体に属している者は提案代表者および参加構成メンバーにはなれません。

【注意事項】

- 反社会的勢力である者、反社会的勢力との間に過去・現在又は直接・間接を問わず、取引、金銭の支払い、

便宜の供与その他一切の関係又は交流がある者、また、反社会的勢力に属する者又は反社会的勢力との交流を持っている者が役員に選任され、従業員として雇用され又は経営に関与している事実がある者は、応募することができません。

- 機関投資家等から資金調達を行っている場合であっても応募が可能です。
- NEDO Challenge, Satellite Data –衛星データで革新する未来の都市インフラ– 応募者も応募が可能です。
- 明らかに事業化を目指す意思がない事業アイデアの応募は選考対象外となります。
- 上記に関わらず、当実行委員会が不適切と認めた応募者については、実行委員会の判断により応募資格取り消しとさせていただく場合がございます。

（4） 応募テーマ

応募テーマは協賛企業テーマとNEDO Challenge共通テーマがあります。協賛企業テーマや詳細については、公式サイトもご確認ください。

公式サイトURL：https://space-data-challenge.nedo.go.jp/infrastructure/#theme

協賛企業テーマ	
カナン・ジオリサーチ	衛星と地中のデータでインフラのリスクを可視化し、災害に備える事業アイデア

NEDO Challenge共通テーマ	
テーマ１	インフラマネジメント及び都市活動における課題解決に資する事業アイデア
テーマ２	インフラに係る防災・災害対応における課題解決に資する事業アイデア

【テーマの詳細】

協賛企業テーマ

- カナン・ジオリサーチ：衛星と地中のデータでインフラのリスクを可視化し、災害に備える事業アイデア

テーマ説明：協賛企業テーマでは、衛星データと地中データを組み合わせることにより高度な予防保全や災害時の早期復旧・復興につながる事業アイデアを募ります。カナン・ジオリサーチが提供する地中レーダ3次元モバイルマッピングシステム（GMS3）で取得したデータを中心に、地中ないし地上のデータと衛星データを掛け合わせた提案を歓迎します

- 応募例
  - 都市全体の道路陥没や地下ライフラインの劣化リスクを予測する予防保全システム
  - 衛星データと地中データを掛け合わせた災害危険箇所の特定や通行・復旧計画の策定
  - 衛星データによる一次スクリーニングを活用した効率的な地中リスク箇所の抽出
  - 衛星データと地中データを掛け合わせた高水分・軟弱地盤における地中センシングの自動補正・高度化

NEDO Challenge共通テーマ

- テーマ１：インフラマネジメント及び都市活動における課題解決に資する事業アイデア

- 衛星データを活用した、インフラ構造物の劣化等の点検や監視、インフラ周辺状況のモニタリング、3D都市モデル等の作成・更新、土地利用変化・建物更新の把握、交通量等の都市活動のモニタリング等の課題解決に資する事業アイデアを募ります
- 応募例
  - インフラ構造物の劣化等の点検やモニタリングの効率化・高度化・人手不足解消
  - 河川・港湾・海岸・ダムなどの浸食・堆積や地盤変動等の広域的・時系列的な変状把握
  - インフラ周辺状況（地盤、植生・樹木、土地利用など）の継続的な変化把握及びこれまで把握が困難であった地下空間や周辺リスクの把握
  - インフラ点検の評価・診断や予防保全計画策定の効率化など、広域インフラ管理や複数インフラのマネジメントサイクルへの衛星データ活用
  - 3D都市モデル等の生成や都市計画基本図等の作成における、土地利用変化（空き家・空き地化、建物の更新等）の把握、地上や地下の物体・空間、物体の分類・識別の高度化
  - 都市の交通量・人流のモニタリングにおける、衛星データと他データを組み合わせた都市活動分析の高度化

- テーマ２：インフラに係る防災・災害対応における課題解決に資する事業アイデア

- 衛星データを活用した、災害リスク評価、災害・異常検知、災害時の広域的・動的な状況把握、3D都市モデル等と組み合わせた災害状況の可視化等の課題解決に資する事業アイデアを募ります
- 応募例
  - 平時の災害リスク評価
  - 災害発生前の異常検知や予兆把握
  - 浸水や河川水位などの広域的・動的な状況の把握
  - 発災直後の迅速な複数インフラ被災状況や道路閉塞（電柱倒壊、車両乗り捨て等含む）の把握

- 応急対応期の広域的・継続的な情報把握及びインフラ復旧へ向けた応急対応・復旧計画立案
- 3D都市モデル等と組み合わせた、発災時の広域的な状況の可視化や、平時の災害リスクの可視化

【応募の補足】

- 共通テーマへの応募は提案内容に応じて、いずれか１つを選択してください。
- １つの提案で協賛企業テーマと共通テーマ１つへの応募が可能です。
  例）協賛企業テーマと共通テーマ１への応募、協賛企業テーマと共通テーマ２への応募
- 複数提案することによりそれぞれの共通テーマへ応募することもできますが、各テーマへの応募数は１つまでとします。
  例）提案1:「協賛企業テーマと共通テーマ１」、提案2:「共通テーマ２」として応募は可能。
- 提案は、既に実証されているものに限らず、将来実現すべき技術等を用いたものでも構いません。
- テーマを提示した協賛企業から事業アイデアに対する支援を確約するものではありません。

（5） 応募方法

公式サイトから必要な書類[（様式１）提案書]をダウンロードし、必ず受付期間内に公式サイト上の応募フォームよりご提出ください。指定された様式、期間以外でのご応募は認められません。

【提出書類】

- [（様式１）提案書]
- 提出書類は、公式サイトよりダウンロードしてください。
- 公式サイトURL: https://space-data-challenge.nedo.go.jp/infrastructure/#application

【提出先】

- 公式サイト上の申込み受付フォームへご提出ください。
- 公式サイトURL: https://space-data-challenge.nedo.go.jp/infrastructure/#application

4 選考プロセス

応募アイデアは、書類審査による１次選考、プレゼンテーション審査による最終選考を行います。１次選考を通過された応募者に対しては、協賛企業および専門家等による意見交換を受ける機会を提供します。最終選考会では、プレゼンテーション審査により各賞を選定いたします。

応募受付	2026年10月26日（月）～11月30日（月）正午迄の期間で応募を受け付けます
１次選考	• １次選考は書類審査で行われます。必要に応じて、応募者への問い合わせが行われる場合があります • 選考結果は12月上旬頃（予定）にご連絡いたします
合同ワークショップ・	• 2026年12月～2027年4月の期間内でNEDO Challengeと合同で複

意見交換会	数回開催を予定しています • 初回のワークショップは12/9(水)に開催予定です
最終選考	• 2027年5~6月頃にオンラインにて、プレゼンテーション形式による最終選考会を開催いたします • 協賛企業等の審査員による審査項目に基づいた協議の上、決定いたします
表彰	2027年7月下旬に東京都にて表彰を行います

審査について

１次選考及び最終選考は下記の審査項目に基づき、審査を行います。

審査項目	審査の内容
募集テーマ合致性 ※1次審査項目	募集したテーマの趣旨が適切に解釈されており、テーマ内容に合致した提案内容となっているか
事業スコープ・衛星データ活用の妥当性 ※1次および最終審査項目	募集したテーマに基づき、衛星データを適切に活用した事業を創出する内容であるか • 衛星データが適切に活用されているか • ソリューションにおいて衛星データの重要性が高いか
事業の実現性・収益性 ※1次および最終審査項目	事業仮説が立てられており、当社の新規事業・新規ソリューションとなりうる、将来的に事業化が見込まれる内容であるか • 事業における顧客や付加価値が想定・提示されているか • 協賛企業とのシナジーが検討されているか • 事業が対象とする市場の規模は適切に推定されており、その市場規模は大きいか • 類似するサービスとの差別化などが提示できているか • 技術、法規制等の課題、および対応方針が認識されているか
事業化による社会発展性 ※1次および最終審査項目	提案されたアイデアは拡張性や将来性が大きく見込めるものであるか • 事業化に向けたスケジュールとプロセスが示されているか • 事業化に向けた想定ユーザー、ステークホルダー、市場ニーズや付加価値等が示されているか • 事業化による社会インパクトは十分に大きいか
システム開発、アプリケーション開発（加点要素） ※最終審査項目	提案内容を実装できるシステム／アプリケーションの開発まで至っている場合は、その進捗に応じて加点する（システム／アプリケーションの開発は必須ではない）

5　授賞

授賞式では以下の通り授賞を行います。

【協賛企業テーマまたは共通テーマから１つ】
- カナン・ジオリサーチ賞　300万円

【協賛企業テーマまたは共通テーマから１つ】
- 審査委員特別賞　　10万円

6　その他の留意事項

- **応募された提案に関する知的財産権**
  - 応募提案に関する著作権その他の知的財産権は応募者に帰属します。
  - 応募提案は 、第三者の著作権その他知的財産権を侵害していないものに限ります。万一、応募提案が第三者の権利を侵害している場合又は侵害するおそれがあると実行委員会が判断した場合（応募後に侵害となった場合を含みます）、授賞後でも受賞を取り消すことがあります。

- **応募された提案の要約の取り扱い**
  - 応募フォームに書かれた情報や最終選考会でのファイナリストの様子等は、主催者が広報のために雑誌、書籍、ウェブサイト、メールマガジン等の各種媒体で発表又は利用する場合がありますことをご了承願います。これに伴い応募者が書かれた情報を要約、翻訳等一部変更することがあります。

- **最終選考会後の経過報告**
  - 最終選考会出場者には、受賞有無にかかわらず、その後の経過をヒアリングさせていただく場合があります。

- **個人情報の取扱い**

1. 個人情報の利用目的

衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会及びその事務局（以下、「運営者」と言います。）は、衛星データ活用アワード2026-2027の応募により取得した個人情報を、以下の目的で利用し、応募者の同意がある場合を除き、その他の目的に利用することはありません。

① 衛星データ活用アワード2026-2027の運営
② 応募者への連絡（登録情報に関する確認、問い合わせ、選考結果通知など）
③ 選考結果や受賞の公表
④ 応募者への取材
⑤ NEDO Challenge, Satellite Data -衛星データで革新する未来の都市インフラ- に関する情報提供
⑥ 情報取得時に別途通知または明示した利用目的
⑦ その他、上記に関連する目的

2. 個人情報の第三者への提供

運営者は、原則として、あらかじめ応募者の同意なく取得した個人情報を第三者に提供いたしません。

3. 個人情報処理の委託

運営者は、個人情報を取り扱う業務の一部を、運営者と機密保持に関する覚書を取り交わした企業等に外部委託することがあります。

【個人情報の取り扱いに関する問い合わせ先】

運営者の個人情報保護方針あるいは運営者保有の個人情報に関するお問合せ等は、下記までご連絡ください。
衛星データ活用アワード2026-2027実行委員会（事務局：宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合）
E-mail: nedo_infra_management_2026@ssil.jp

＜注意事項＞

- 選考に関する個別のお問合せにはお答えできません。
- 最新スケジュールは、 公式サイト等でお知らせします。
- 会場開催にあたって、交通費は支給致しません。
- オンライン開催の際のオンライン環境は各自でご用意ください。

以上